

介護報酬改定で通所系サービスは大変革!!

さらに地域共生社会の推進で介護が変わる!?

参加者限定の
振り返り視聴あり

オンライン
講演

地域包括ケア・包摂支援時代の

通所系サービス生き残り戦略

制度が4月以降に求めているものへ一早く対応する

日程	1日目	2021年 3/13 (土)	10:00~18:00	参加費	①全6講座 30,000 円(税・製本済資料代込)
	2日目	2021年 3/14 (日)	10:30~16:15		②全6講座 18,000 円(税・製本済資料代込)
				【特典】	
				・ライブ参加出来ない場合の「見逃し配信あり」	
				・受講後の振り返り視聴が4月30日(金)まで	
				【特典】	
				・受講後の振り返り視聴が4月30日(金)まで	

【その他】

- ・開催5日前より当日のアクセス情報と資料をお送りいたします
- ・本オンライン研修を受講された方は2021年に予定している当会主催の研修すべてに20%割引で参加いただけます
- ・不明な点がございましたら、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

他施設は下記最重要項目へいかに対応していくのか!?

改定項目と地域共生
社会への対応

地域・他サービスとの
連携・広報活動

人材の確保と
定着・育成



実際の事業所運営を知り先進的取り組みを行う講師陣に訊く!

※社会状況を鑑み予定していた会場開催がWEB開催に変わりました※

2021年3月13日(土)	
10:00	講演① 通所系サービスがすべき 介護報酬・制度改正への対応具体策 妹尾 弘幸氏 (日本通所ケア研究会 会長 / 株式会社 QOL サービス 代表取締役)
12:00	休憩
12:45	講演② 通所系サービスの生き残りと展開① 半日型デイサービス、長時間デイサービス、軽度者中心のデイサービス レク・アクティビティ中心のデイなどは何をすべきか 小室 貴之氏(株式会社風の風 代表取締役)
16:15	講演② 通所系サービスの生き残りと展開② 通所リハ(短時間・長時間)はどう連携して加算を算定していくのか 宮川 直彦氏(志村フロイデグループ本部事務局 副局長)
16:30	講演③ 低稼働率から利用者増を達成し 高稼働率を実践する具体的方法 ※終了後、受講者から個別無料相談対応
18:00	山下 総司氏(株式会社IDO 介護部門ディレクター)

2021年3月14日(日)	
10:30	講演④ 収益増のためにデイに求められる 他サービスとの具体的連携 デイ⇄訪問、老健⇄デイなど他サービスが求められる視点から考える 塩原 貴子氏(フェルマータ船橋 事務長代理)
12:00	休憩
13:00	講演⑤ 基準があつてこそその育成、育成があつてこそその内部統制! 必要な職員が残る仕組みづくり (問題職員の辞めさせ方と人材確保の具体策)
14:30	知野 吉和氏(介護人材育成アドバイザー)
14:45	講演⑥ 共生型サービス、保険外サービスの始め方と デイの今後・展開の仕方 ※終了後、受講者から個別無料相談対応
16:15	半田 和徳氏(リハプライム株式会社 営業部長)

講演内容は裏面またはホームページをご確認ください

講演① **通所系サービスがすべき
介護報酬・制度改正への対応具体策**

【内容】

- [1] 報酬改定の内容と対策
 - ・今回報酬改定のポイント
 - ・通所介護・通所リハの報酬改定と対策
 - ・その他サービスの報酬改定がもたらすデイへの影響
- [2] 4月から始まる新加算と制度発足後最大規模の改定がある運営基準の変更
 - ・「新・個別機能訓練加算」「新・入浴介助加算」「新・口腔栄養加算」など加算の算定要件
 - ・運営基準の変更が意味すること
- [3] 制度改定をチャンスとして生かす！一歩先を行く方策
 - ・通所介護での方策
 - ・通所リハでの方策
- [4] 生き残るために
 - ・生き残るためにする5つのこと
 - ・その他

講演④ **収益増のためにデイに求められる
他サービスとの具体的連携**
デイ⇄訪問、老健⇄デイなど他サービスが求められている視点から考える

【内容】

- [1] 老健だから関係ない!?これから通所系サービスに必須となる
老健に求められている機能の理解
 - ・集められない限られた人材の中、今ある「社会資源」「サービス機能」を高めること
 - ・老健施設は多職種専門職が配置されている
 - ・フレイル対策など介護予防の役割をどう考えるか
- [2] 通所リハ、訪問リハとの連携
 - ・SPDCAの大きな意味での「S」であるデイケアのとらえ方
 - ・本体報酬に包括されていく加算や、ICT、CHASEをどのように活用していくか
 - ・短時間デイケアという新たなサービスを地域含めて位置づけられる
- [3] 自法人の一人勝ちではなく、地域の中での役割分担をどう考えるか
 - ・専門職はもはや地域の宝
 - ・地域の他事業所・他サービスの強みや特色をも把握する

講演② **通所系サービス生き残り
と展開 (1)**
半日型デイ、長時間デイ、軽度者中心のデイ、
レク・アクティビティ中心のデイなどは何をすべきか

【内容】

- [1] 制度が求めるデイのキーワード「社会的自立支援アセスメント」
- [2] 統合される機能訓練、何をやればよいの?
- [3] ADL維持向上加算をしっかりと算定するためのポイントは?
- [4] 地域連携拠点機能が全デイに求められている!どうすればよい?

講演② **通所系サービス生き残り
と展開 (2)**
通所リハ (短時間・長時間) はどう連携して加算を
算定していくのか

【内容】 予定

- [1] 2021年度介護報酬改定で何がかわるのか?何を求められているのか?
- [2] 効率性を上げながら効果を出し、通所介護等への意向へのプロセス
- [3] 専門職が地域に出ていくポイント
- [4] 当グループの対応・対策・取り組みについて

講演⑤ **基準があつてこそその育成、育成があつてこそその内部統制!
必要な職員が残る仕組みづくり**
(問題職員の辞めさせ方と人材確保の具体策)

【内容】

- [1] 今から始める!丁寧な組織づくり
 - ・最初からやっておけばよかったことをおざりにした結果...
- [2] 今、スタッフに必要なスキルは何か?
 - ・一人前の基準は?何がわかって、何ができるのか?
 - ・スキルをどう積み重ねるか?
 - ・人材育成プログラムとは言語化し、体系化していくということ
- [3] 基準を徹底することが、内部統制への第一歩
 - ・問題職員の存在を分かっているが対策をしないことが、一番の経営の敗北
 - ・勇気をもって現場の現状を直視することから始める
 - ・大きな変化をすぐに求めることは難しいが、目に見えて確実に変化は起きる
- [4] 人材定着→育成→確保
 - ・[1]から[3]を踏まえて、経営者はプライドをもって「組織」「経営」「人生を守る」

講演③ **低稼働率から利用者増を達成し
高稼働率を実践する具体的方法**

【内容】

- [1] 現在のデイサービスのサービス提供内容を見直そう
 - ・気づいたら「いつでも、なんでも」利用者全員で同じ事をやってませんか?
 - ・スタッフは忙しい、人が足りないといばかり言ってませんか?
- [2] サービス提供にあたってスタッフの教育・環境は整っていますか?
 - ・事業所内でのルール、評価は納得いくものですか?
 - ・決まった事を素直にやろうという雰囲気がありますか?
- [3] サービス提供にあたって利用者が利用したいと思う環境は整っていますか?
 - ・事業所内が幼稚っぽくならない環境づくりが出来ていますか?
 - ・提供するプログラムがその方に合った内容で構成されていますか?
- [4] ここまで出来たら広報活動の実践へ(新型コロナ禍でもできる対策について)
 - ・ケアマネジャーが紹介したいと思う広報(広報物作成・伝達)が出来ていますか?
 - ・間違った営業の仕方、ツール作成で訪問をしていませんか?

講演⑥ **共生型サービス、保険外サービスの始め方と
デイの今後・展開の仕方**

リハプライム株式会社は介護事業を展開する企業ですが、「美容室」「喫茶店」「タクシー」「スーパーマーケット」の運営もしています。さまざまなサービスをしているようですが、目的は一つ。親・親世代のシニアの方が住み慣れた地域で、思い出の詰まった自宅で最後の最後まで、地域の方との交流を持ちながら、笑顔で生活していただくためです。今回の講演では、実際に行っている保険外サービスの動画を交えながら具体的に取り組みを紹介させていただきます。

【内容】

- [1] デイサービス事業者がこれから確実に求められること
- [2] リハプライムの取り組みを具体的に紹介



お申し込みは QR コードまたは

通所 生き残り戦略 で 検索

【オンライン】通所系サービス生き残り戦略 リレー講演 参加申し込み書 **FAX 084-948-0641**

ご希望の項目に ○をつけてください	30,000 円	18,000 円	連絡先 (自宅・勤務先) ※必須	TEL	
ふりがな				FAX	
氏名				携帯	
資料送付先 (自宅・勤務先)				メール	
勤務先					

※上記個人情報は、当研究会の管理・運営に関するのみ使用します。

参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

日本通所ケア研究会事務局

TEL **084-971-6686**

ホームページ

<https://tsuusho.com/daysurvival>

メール

info@tsuusho.com

FAX **084-948-0641**